

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		少年自然の家管理運営				所管	教育委員会	
							学務課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小柱]					[事業開始] 昭和 3 5 年度	
		[施策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区立少年自然の家条例			
	事業対象	区内小・中学生、社会教育登録団体、区内在住・在勤者						
	事業目的	すぐれた自然環境の中で、集団宿泊生活を通じて心身ともに健全な少年の育成を図るとともに、区民の健康増進及び余暇活動を促進する。						
	事業内容	校外施設としての「霧ヶ峰学園」の管理運営及び区内在住・在勤者が利用する際のサービスの提供。						
	委託の有無	全部委託(指定管理)		委託内容	施設の維持管理運営業務			
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	小・中学校移動教室利用人数 (人)		5,000	5,001	4,915	4,936	
		年間利用人数 (人)		14,500	12,933	14,083	14,477	
	成果指標	利用率 (%)		30.0	27.5	28.1	28.1	
	決算額 (単位：千円)				74,451	75,768	72,754	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			8,101	4,165	4,261	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			72,644	72,494	71,206	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			1,807	3,275	1,549	
		総経費			82,552	79,934	77,016	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			9	9	9	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			82,543	79,925	77,007			
前年度から改善した事項		指定管理者の実績を考慮し、臨時職員賃金を見直すことでコスト削減を図った。また、指定管理者の自主事業を広報や区ホームページで周知し、昨年度よりも実施回数を増やすことができた。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	学校教育や社会教育活動において、自然体験活動を行う場として必要な施設である。					
	効率性	3	指定管理者制度の導入により施設の管理運営コストを低減し、事業の効率化を図っている。					
	手段の適切性	3	指定管理者制度の導入によりコスト低減・サービスの向上が実現できているが、区民の健康増進及び余暇活動の場としてさらなる利用促進が必要である。					
	目的達成度	4	指定管理者の自主事業や、団体へのPR等を行い、利用者数は少しずつ増加している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
現在の指定管理者は6年目となり、経験豊富な職員による安定した施設運営が行われている。今後も、施設や食事等の安全性を確保し、より多くの区民に利用してもらえるよう、学校利用期間以外の利用促進に指定管理者と協力していく。						維持		